

あすなる分教室自立活動学習指導案

日 時：平成15年10月 7日(火)
14:15～15:15

場 所：分教室(ホール)

指導者：奥谷正彦(T1)他 9名

1 題材名「光，音遊び」

2 題材について

(1) 児童生徒について

あすなる分教室は「自立活動」を中心とする教育課程で学習しており，集団学習は小学部3名，中学部3名，青山養護学校高等部一関分教室5名の計11名で週1回行われている。11名の児童生徒は，様々な刺激を受け止め言葉で表現できる児童生徒から，刺激を受け止めることはできるが，十分な表現につながらない児童生徒まで多様である。

児童生徒達は，これまでも「光，音遊び」を経験しており，光を目で追ったり光の刺激を受け止め注視することができる等，光と音の効果を受け止めてきている。また，視力のない，あるいは弱い児童生徒は音を中心に刺激を受け止めている。ほとんどの児童生徒が，音あるいは音楽を聞き体を激しく動かしたり声を出したり良い反応を示すことが多い。「光」「音」それぞれについては個別の学習の中でも取り組んでおり，児童生徒達にとって取り組みやすい題材であり，一人一人の実態や好みもあるがそれぞれの反応を示している。

(2) 題材について

これまでも光や音，揺れ遊び等の感覚に働きかける遊びをとおして視覚や聴覚など様々な感覚に働きかけ，能動的に反応したり快表情を表出できるよう目指してきた。その中でライトや投影機を使用しての光・音遊びでは，心地よい光や音を共有しリラクゼーションを促進させる取り組みをしてきた。また，ミュージックパネルシアターはパネルの動きを見ながら音の効果で臨場感を味わわせる取り組みをしてきた。どちらも児童生徒達になじみのある題材である。

光遊びは視覚的にきれいというだけでなく，暗闇が余計な情報を遮断することができ，集中して見ることができると思う。音については遮断することができにくいものでもあるが内容について吟味することで臨場感や効果を味わえるものである。ブラックライトを使用して光とパネルシアターを組み合わせることで，暗闇が余計な情報を遮断しパネルシアターに集中させることができ，音や音楽で場の臨場感を高めることができると考える。また，視力の弱い児童生徒に対しては風や揺れなどの感覚遊びを取り入れて場の雰囲気味わわせたい。

(3) 指導について

集団学習で取り扱うということで視力のない児童生徒も十分に楽しめるように水中探索をするというストーリー性を持たせた。ストーリー展開をビデオや効果音を使用し，実際には経験することが困難な場面の疑似体験やイメージ作り等に役立てたいと考え

た。

場の雰囲気全員で共有することで集団学習ならではの個々の相乗効果を期待している。また、それぞれの児童生徒達が役割を持ち、視覚や聴覚を中心に風や揺れなどの感覚遊びを融合することで、感覚に障害のある児童生徒でもひとりひとりが興味関心を持って取り組める時間を持つことができると考えた。そのためにも個々の実態を考慮しながら、各自が興味関心を持って取り組める活動を吟味し、集団学習ならではのダイナミックな活動を行いたい。

3 題材の目標

- (1) 活動をとおして楽しさや心地よさを味わいながら、自分の感情を言葉や表情、体の動きで表現できる。
- (2) 活動をとおして友達や指導者との関わりを深めることができる。

4 指導計画(18時間)

「光、音遊び」

- ・海の中を探検しよう 1・2 / 6 (本時) 6時間
- ・地底を探検しよう 6時間
- ・世界音めぐり 6時間

5 本時の指導 題材名「海の中を探検しよう」

(1) 本時の共通の目標

音や光、風、揺れ遊びの楽しさや心地よさを体験する。
友達や指導者との関わりを深める。

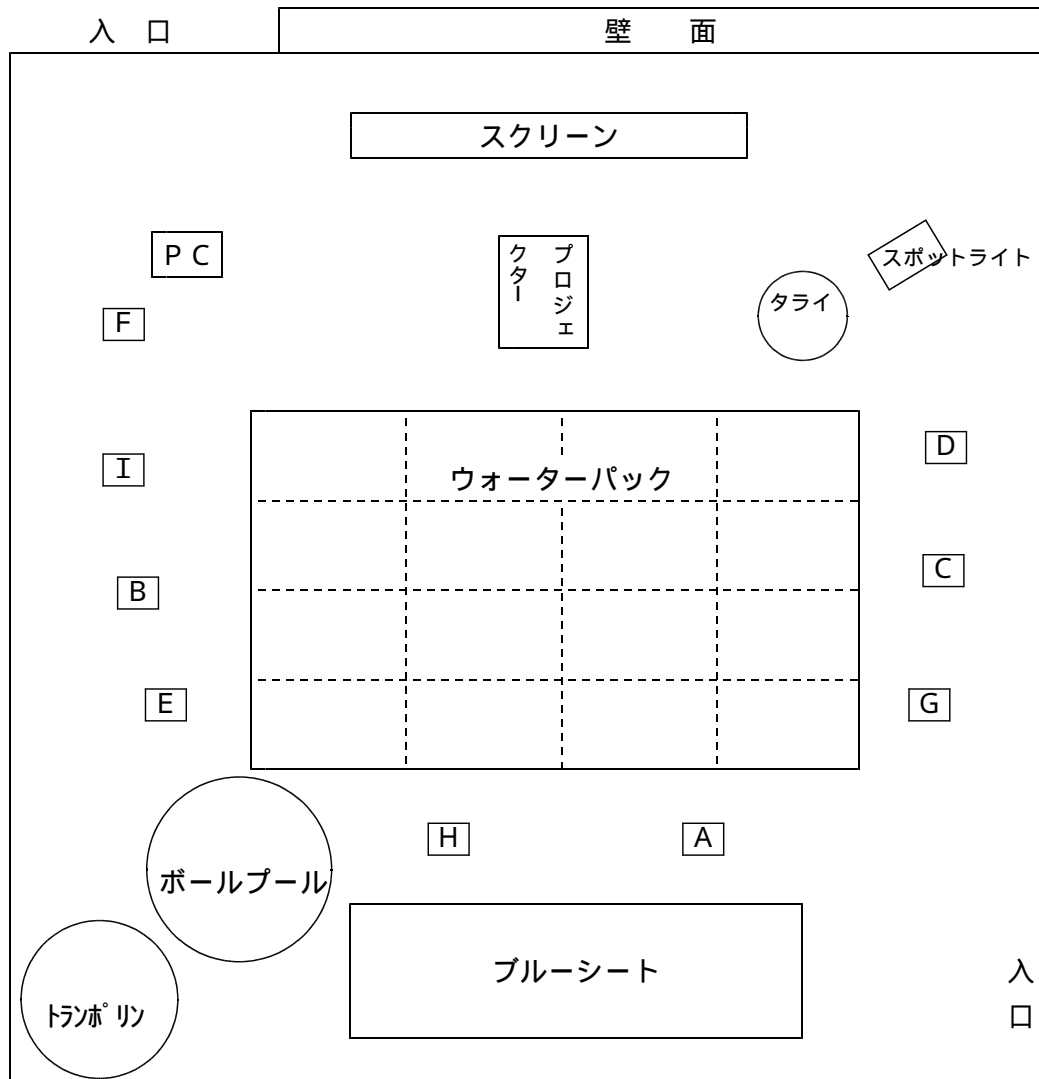
(2) 個人の実態と目標(別紙1)

(3) 本時の指導過程(別紙2)

(4) 指導の評価

個々の目標が適切で一人一人が楽しめる場面が設定されていたか。
教材教具が効果的に使用されていたか。
安全面に配慮はなされていたか。

配置図



(別紙1) 個人の実態と目標

	実 態	題材の目標	評 価
A	<ul style="list-style-type: none"> ・光を見つけ追視したり、明るい方を見たりする。 ・いろいろな楽器の音色・音楽・話し声などに耳を傾けている様子が見られる。 ・好きな音を聞くと、うれしそうに笑ったり両足を伸ばしたり曲げたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな活動を楽しむことができ、自分の感情を表情や体の動き等で表現することができる。 ・集団の雰囲気を感じ取り、友達や指導者との関わりを意識することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小さな音を聞こうとする姿勢が見られ、音楽も楽しむことができた。明るいスクリーンの方を向くことができたが、パネルシアターを注視することは難しかった。 ・暗転した時周囲をつかがう様子が見られ指導者の声がかけて関わりを持つことができた。
B	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚障害(斜視)があるが、日常生活に支障はない。興味のある物に対しては、じっと凝視したり追視し続けることが多い。 ・ミラーボールやライトの光を見ると笑顔を浮かべて見ている。 ・衝撃音や打楽器の音等は苦手で、音が出そうな状況に気がつくと嫌がる。 ・リズムカルな音楽や踊りが大好きで体を揺すりながら手を叩き、歌うような声を出すことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小さな波の音に気づき、静かに聞き入ることができる。 ・風の流れや音の変化に気づくことができる。 ・ウォーターバックの揺れを感じ、自ら揺らして遊ぶことができる。 ・好きな場面では、楽しさを表すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小さな音や場面の变化を注意して見たり聞いたりすることができる、小さな変化に注目することができた。 ・パネルシアターでは自分から積極的に移動して見に行った。手を叩いたり体を動かして楽しさを表現することができ、ウミヘビが出てきた時には「やだ」と場に応じた発語もできた。
C	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚障害(斜視)があるが、興味のある物に対しては、ゆっくりではあるが追視し、じっと見続けることがある。 ・光の点滅や様々な色の变化に興味を示し、目を見張り追視したり見続けることがある。 ・音楽が好きで、特に楽しい感じの歌やメロディーの乗せて体を揺ると、声を出して喜ぶことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集団学習の始まりを意識することができる。 ・光や音の変化に気づき、追視したり体をその方向へ動かそうとすることができる。 ・リラックスした状態で、集団学習に参加することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スクリーンや明るい光の方に体を動かして見ようとする姿勢が見られた。 ・ウォーターバック上でリラックスすることができ、周囲の様子を観察しながら参加することができた。
D	<ul style="list-style-type: none"> ・視力は明暗が分かる程度である。 ・音に敏感で突然の大きな音、衝撃等に驚く。興味のある音を聞くと声を出して笑うことがある。 ・風を感じると快表情を見せることが多い。 ・トランポリンや毛布ブランコ等での揺れ遊びは苦手であるが、ウォーターバックの小さな揺れであればリラックスして乗っていることができる。揺らした時にでるバックの中の水の音を聞き快表情を見せる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな音に耳を傾けたり、風の感触を受け止め、声や表情で表現することができる。 ・ウォーターバックでの揺れ遊びに慣れ、心身共にリラックスすることができる。 ・周囲の楽しい雰囲気を感知することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小さな音もよく聞き、風の感触を受け止め声や表情で表すことができた。 ・暗転した時に不安な表情を見せたが、ウォーターバックに乗りリラックスすることができ、緊張のある左足がまっすぐに伸びた。 ・周囲の様子を聞いたり音楽を聞いたりしながら最後まで楽しむことができた。
E	<ul style="list-style-type: none"> ・初めての経験に対しては手で顔をとおったり、耳をふさいだりする。 ・好きな音楽に合わせて足を動かしたり手をたたく等して笑顔を見ることが多い。 ・気になるものや好きなもの、人の動き等を追視したり注視することができる。 ・集団での学習では、普段よりも周りの様子を見ていることが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・光や音の刺激を受け止め、自分なりに反応することができる。 ・周囲の雰囲気を感知取りながら、指導者との関わりを意識することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イカの動きや海藻の動きをじっくり見ることができ、ボールプールの音が出た時には手を伸ばすなど主体的な動きが見られた。 ・今回の教室の雰囲気が心地よかったのか終始良い表情で活動ができた。
F	<ul style="list-style-type: none"> ・光の点滅や色、模様の変化に興味深く見ている。 ・振動や揺れのある遊具には乗りたがらない。 ・音楽を聞いたり歌ったりすることができるので、なじみのある楽器の音色や生活音を聞き分けることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・海の中の雰囲気をイメージし、活動の流れを理解しながら取り組むことができる。 ・照明等、場面の变化を楽しむことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・船長の役割をとおしてストーリーを理解することができた。ビデオの映像とおしてストーリーの中に入り込むことができた。ボディパネルシアターでは生き物が変わるたびに感想を話すなど集中して見ることができた。 ・第1時間目ということもあり光の変化等をじっくり観察するまでに至らなかった。
G	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の様子を観察したり、声をかけたりしながら集団での活動を楽しんでいる。 ・色の違い、名称、光の動きや変化が分かり、鈴、タンバリン、鉄琴等の演奏や歌唱も楽しむことができる。 ・車椅子のテーブルの上にウォーターバックを乗せ、自分で揺らしながら、その振動を楽しんでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音や光の変化による海中の様子を想像しながらその様子を発表することができる。 ・友達の様子を観察をしたり周囲の指導者に声をかけたりしながら進んで活動に参加することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スクリーンに映し出された映像や天井に映る光の揺れなどから海中の様子を感じ取ることができ、海の生物についても知っている範囲で発表することができた。 ・周囲を意識し緊張したため、進んで友達に関わりは持てなかったが、後半、リラックスし友達に声をかけることができた。
H	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚障害があるため光には反応しない。 ・音に敏感で好き嫌いをはっきりしており態度で表す。興味のある音を聞くと声を出して笑うこともある。 ・風を感じると快表情を見せる。 ・トランポリンや毛布ブランコなどの揺れ遊びが好きで快表情を見せる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな音を聞き楽しむことができ、表情や体の動きで表出することができる。 ・風遊びや揺れ遊びなど自分の好きな活動に主体的に取り組むことができる。 ・周囲の楽しい雰囲気を感知することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボールプールの音や振動で笑顔を見せたり体を揺すったりしながら楽しさを表現することができた。 ・ウォーターバックの揺れを楽しみながら、中の水の音をよく聞き笑顔を見せて反応することができた。 ・周囲の音をよく聞き、最後まで活動することができた。
I	<ul style="list-style-type: none"> ・明暗に反応し、光が当たるとまぶしそうな表情をする。 ・時折、30cm程離れたところにある玩具やミラーボールの光の動きを目で追う仕草が見受けられる。 ・明るくリズムカルな曲を好み声をあげて手をひらひらさせて体を左右に揺らす。また、ピアノや人の歌声など生の音を好み、体の動きを止めて、じっと聴き入る仕草も見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・光や音の刺激を受け止めて、表情や体の動きで反応することができる。 ・集団の場の雰囲気を感知することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体調が不十分なこともあり、前半は自分の世界にとどまっているような様子が見受けられた。 ・暗転した時、頭を動かし天井に映し出された光を見ることができた。 ・ボディパネルシアターでは、イカが近くに来た時に目を見開いて反応することができた。

(別紙2) 本時の指導過程

	学習内容及び活動	指導者の働きかけと指導上の留意点									教 具 等	
		A(T2)	B(T3)	C(T4)	D(T5)	E(T6)	F(T7)	G(T8)	H(T9)	I(T10)		
15分	1 始まりの活動	登校してきた児童生徒の健康を觀察し、病棟連絡員から必要な情報を得る。(T1) 始まりの会を進めながら、授業の始まりを意識するよう促す。(T1)									<ul style="list-style-type: none"> ・カレンダーボード ・パーソナルコンピュータ ・プロジェクター ・スクリーン 	
	(1) 始まりのあいさつをする。	・活動の始まりを気づかせるように声がけをする。	・T1の話に注目させる。	・活動の始まりを気づかせるように声がけをする。	・活動の始まりを気づかせるように声がけをし、発声を促す。	・言葉がけにより授業の始まりを意識させる。			・今日の日付と天気を発表するよう促す。	・今日の日付と天気を発表するよう促す。		・始業のベルを鳴らすよう促す。 ・これから授業が始まることを期待感を持って感じられるよう声がけ等をする。
	(2) 始まりの歌を歌う。 (3) カレンダーワークをする。 ・今日の日付と天気を発表する。	・PCの映像と音で今日の天気を確認できるよう促す。	・PCの映像と音で今日の天気を確認できるよう促す。	・PCの映像と音で今日の天気を確認できるよう促す。	・PCの音で今日の天気を確認できるよう促す。	・PCの映像と音で今日の天気を確認できるよう促す。			・今日の日付と天気を発表するよう促す。	・今日の日付と天気を発表するよう促す。		・PCの音で今日の天気を確認できるよう促す。
15分	(4) 今月の歌を歌う。 (5) 呼名に対して返事をする。		・T3の声がけに手タッチで答えさせる。									
15分	(6) 今日の活動について話を聞く。	今日の活動について話をし、おおよその見通しが持ちやすいよう支援する。また、期待感が高まるよう雰囲気作りをする。(T1)										
40分	2 光・音遊び	ストーリー展開がスムーズに流れるように配慮する。(T1)									<ul style="list-style-type: none"> ・ブルーシートを床に敷く ・音ホース・扇風機 ・ボールプール 	
	(1) 海に移動しよう。 ・ブルーシートの上を車椅子で移動して小さい波の音を表現する。 ・音ホースで風の音を表現する。扇風機で風の感触を楽しむ。 ・ボールプールで大きな波の音を表現する。	・ストーリー展開が分かるように声がけをする。	・車椅子の生徒の動きに注目させる。	・音の方向に体を向けさせる。	・波の音が感じ取れるよう落ち着いた静かな雰囲気を作る。	・車椅子で音を出して聞かせる。	・船長になり他の者をリードするよう促す。	・音を聞いて波を想像したり、音ホースを自分で回転させて風をイメージできるように支援する。	・車椅子で音を出して聞かせる。	・音を聞いて波を想像したり、音ホースを自分で回転させて風をイメージできるように支援する。		・波の音が感じ取れるよう落ち着いた静かな雰囲気を作る。 ・指導者の鳴らす音ホースの音に聞き入るよう促す。 ・様々な音が聞き取りやすいよう支援する。
	(2) 潜水艇に乗り込もう ・海上のビデオを見ながら、ウォーターバックに乗り揺れを楽しむ。 ・海中に潜るビデオを見て海中の雰囲気を感ずる。 ・ブラックライトで浮かび上がるウォーターバックと天井に映し出される水面の揺らぎの光の効果と効果音で海中の雰囲気を味わう。(リラクゼーション)	・ボールプールの波の音を聞かせる。	・波の音と一緒にタッピングする。	・様々な音が聞き取りやすく、驚くことがないように配慮する。	・ボールプールのボールの動きを見せながら波の音を聞くよう促す。	・PCでビデオの操作を行うよう促す。	・潜水艇に乗り込む合図を出すよう促す。	・車椅子の机の上にウォーターバックをのせ、自分で揺らして楽しめるよう促す。	・ビデオを見て感想を話すよう促す。	・合図とともにウォーターバックに寄せ、大小の揺れを体感させる。		・ウォーターバックの様々な揺れを全身で感じ取れるよう、寄せ方、揺らし方を工夫する。
55分	(3) 海中の生き物を見よう(ボディパネルシアター) ・ブラックライトを使用して浮かび上がる何種類かの生き物を鑑賞する。 クラゲ ウミヘビ 魚の群れ イカ	動きのある場面から静かな場面への場面転換に配慮する。(T1)									<ul style="list-style-type: none"> ・ウォーターバック ・パーソナルコンピュータ ・プロジェクター ・ブラックライト ・スポットライト ・水を張ったタライ ・ブラックライト ・パーソナルコンピュータ 	
	・天井の光に注目させるよう促す。 ・音楽を聞かせ、優しい揺れを与え、リラックスできるよう支援する。	・ブラックライトの効果や天井の光を見せたり音楽を聞かせたりリラックスできるよう支援する。	・光の動きやきらめきに気づかせる。	・音楽を聞かせ、リラックスできるような揺らし方、支援の仕方に配慮する。	・楽な姿勢をとらせる等、リラックスできるよう支援する。	・天井に映し出される光の揺らぎに注目させる。	・車椅子をリラクゼーション姿勢にして、天井の光の様子が見えやすいよう促す。	・音楽を聞かせ、優しい揺れを与え、リラックスできるように支援する。	・ゆったりとリラックスした雰囲気を味わう。 ・姿勢に配慮する。			
	効果音でメリハリをつけ単調にならないように配慮する。(T1)											
		・生き物について説明し、効果音の音楽を聞くよう促す。 ・効果音の音楽に合わせてタッピングをする。	・生き物の動きを目で追うよう促す。	・状況を説明し、効果音の音楽を聞くよう促す。	・楽な姿勢をとらせる等、活動(見る)に集中できるように支援する。 ・言葉がけにより光や浮かび上がる生き物を見るよう促す。	・生き物の名称を考えるよう促す。	・周囲の情景を皆に話したり、ゆったりと音楽を聞いて海中の様子を想像できるように促す。	・状況の説明し、効果音の音楽を聞くよう促す。	・生き物の動きに目が止められるよう、姿勢や生き物との距離に配慮する。			
5分	3 終わりの活動	授業が間もなく終結することを意識させる。(T1)										
60分	(1) 一人一人感想を話す(指導者が様子を話す)。 (2) さよならの歌を歌う。 (3) さよならのあいさつをする。	・指導者が今日の様子を話す。	・楽しかったことを表情、声、動作等で表現する。	・指導者と一緒に感想を発表する。	・指導者が今日の様子を話す。	・指導者が今日の様子を話す。	・感想を発表するよう促す。	・本時の活動を振り返り、感想を発表させるよう促す。	・指導者が今日の様子を話す。	・今日の学習が終了することを意識する。	・リラックスした状態で本時の学習の余韻を楽しむと共に、終わりを感ずるよう促す。	